

2011年6月15日
株式会社コロナ

～第13回電力負荷平準化機器・システム表彰～ 「コロナ エコキュート」が3年連続の受賞

株式会社コロナ(本社:新潟県三条市 社長:内田 力)は、6月14日東京日本橋ロイヤルパークホテルで行われた、財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター(理事長:小宮山 宏)主催の第13回電力負荷平準化機器・システム表彰^{※1}において、「コロナ プレミアムエコキュート(寒冷地仕様)」が「財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞」を受賞しました。コロナエコキュートは本年の受賞で3年連続受賞^{※2}の栄誉となりました。

受賞対象のコロナプレミアムシリーズは省エネに関するヒートポンプユニットとタンクユニットの改善に毎年取り組み、本年度の受賞機器はさらに効率を高めた点が高く評価されました。

また、このたびの東日本大震災により産業界、国民に節電が求められているなかで、実際に使われるお客様の意見などを取り入れて節電と省エネにつながる新たな機能を搭載して、電力負荷平準化の普及に貢献したことも認められての受賞となりました。

当社は、2001年4月に家庭用エコキュート^{※3}を世界で初めて^{※4}開発・販売し、その後も地球温暖化対策の切り札とされるエコキュートの進化、普及に努めてまいりました。今回の受賞に、心から感謝申し上げますと共に、今後とも「世界初であるという責任」を踏襲しつつ、節電・省エネ性に貢献する機器開発に努めてまいります。

★ 受賞機器の主な特長

受賞機器である「コロナ プレミアムエコキュート(寒冷地仕様)」は、外気温-25℃までの寒冷地に対応でき、新開発の(寒冷地専用)高効率スクロールコンプレッサ^{※5}に加え、高性能水熱交換器および「エジェクスII」^{※6}搭載のヒートポンプユニットとタンクユニットの「ES制御」^{※7}により、業界トップの年間給湯効率(JRA)3.7^{※8}の高効率(受賞のCHP-371DA11Kの値、従来機CHP-371DA9は3.2)を達成しました。

さらに、業界初の入浴検知センサー^{※9}により人が入浴したときだけ、お風呂の保温運転する「省エネ保温」の採用により最大36%の省エネを実現し、また昼間のムダなお湯の沸き増しを止めることのできる「今日の湯増し休止」スイッチなどの省エネ・節電機能も搭載しております。



受賞機器:コロナ プレミアムエコキュート(寒冷地仕様)

CHP-371DA11K(370L)

CHP-461DA11K(460L)

本件についてのお問い合わせは下記へお願いいたします。

株式会社コロナ 広報室 <http://www.corona.co.jp>

〒955-8510 新潟県三条市東新保7番7号 TEL:0256-32-2111 E-mail:info@hode01.corona.co.jp

- ※1:電力負荷平準化機器・システム表彰とは、優秀な電力負荷平準化機器あるいはシステムを表彰することにより、電力負荷の平準化対策を進めその機器やシステムの一層の普及および社会への啓蒙を図ることにより省エネルギー、地球温暖化ガス削減に貢献することを目的としています。
- ※2:第11回(平成21年)「コロナプレミアムエコキュート HX シリーズ」
経済産業省 資源エネルギー庁長官賞
第12回(平成22年)「コロナエコキュート 多機能シリーズ」
財団法人ヒートポンプ蓄熱センター理事長賞 を受賞しております。
- ※3:「エコキュート」の名称は、電力会社・給湯機メーカーが自然冷媒 CO₂ヒートポンプ式給湯機の愛称として使用しているものです。
- ※4:コロナは2001年4月、家庭用自然冷媒CO₂ヒートポンプ式給湯機エコキュートの販売を始めました。
- ※5:外気温度がマイナス領域になってもヒートポンプの加熱能力がほとんど低下することがない当社独自の低圧ドーム方式のコンプレッサです。
- ※6:「エジェクスタサイクル」とは冷凍サイクルにエジェクスを採用してヒートポンプの効率を向上させるものです。
エジェクス/EJECS は(株)デンソーの登録商標です。
- ※7:ES 制御(エネルギーセーブ制御)は「お湯の沸き上げ」や「省エネ給湯回路」等、コロナだけの省エネ技術です。
- ※8:年間給湯効率(JRA)は(社)日本冷凍空調工業会の規格である JRA4050:2007R に基づき消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、1年間を通してある一定の条件(一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件、給水温度で42℃のお湯を1日に約425L使用する条件等を想定したものです)のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。尚、値は省エネ運転モードである「控えめ」で測定した値であり、実際には地域条件、運転モードの設定やご使用条件等により変わります。年間給湯効率=1年で使用する給湯に係る熱量÷1年間で必要な消費電力量。
- 平成23年6月現在寒冷地仕様において業界トップの年間給湯効率(JRA)3.7を達成。
- ※9:自然冷媒 CO₂ヒートポンプ式給湯機において、入浴検知センサーによる「省エネ保温」は2010年6月発売のCHP-371D1A10から搭載されました。